

【平成28年度及び平成29年度における活動状況】

1、災害時

①平成28年熊本地震

4月14日と16日に発生した「熊本地震」(震度7)の対応で、事務所からの要請を受け熊本地区等で延べ95名が出動し支援を行いました。なお、主な活動は下記のとおりです。

(1)河川第1班出動……4月18～20日

緊急災の採択を受けた10箇所(緑川下流出張所管内8箇所、上流出張所管内2箇所)の復旧工法に係る技術的助言を行いました。



現地での支援(クラック状況調査)



現地での技術的助言

(2)河川第2班出動……4月21～23日

緑川及び白川管内の一般災申請箇所(緑川100箇所・白川44箇所)の現地調査を行い、緊急度区分(4ランク)判定に係る技術的助言を行いました。



事務所との協議状況



現地調査の支援状況

(3)道路班出動……4月19～20日

阿蘇維持出張所に出動し、一般国道57号等の被災箇所の調査支援を行いました。

また、立野ダム工事事務所の要請を受け、阿蘇長陽大橋の被災状況の調査支援を行いました。

道路班出張所打合せ

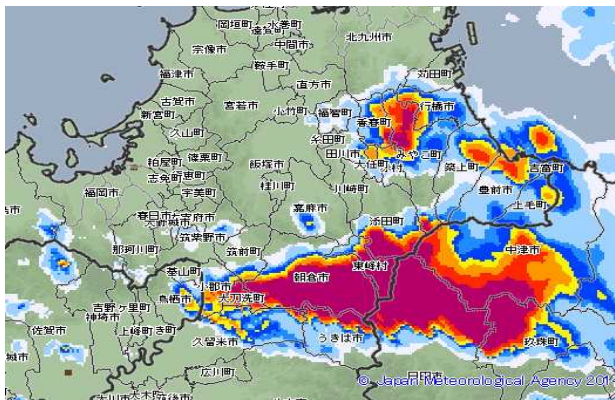


②平成29年九州北部豪雨

7月5日正午から21時にかけて、福岡県朝倉市・東峰村、大分県日田市等の山間部では、記録的な大雨となりました。小河川筋での山腹崩壊・土石流の他、流出土砂と流木、さらにため池の決壊も加わって、下流にも大きな被害が出ました。

この災害においては、筑後川及び遠賀川河川事務所から出動要請を受け、7月6～7日に24名の会員が出動し、筑後川では、堤防欠損・護岸流失・洗掘等の被災状況の現地確認支援及び緊急復旧(3箇所)、応急対策(19箇所)の工法助言を行いました。

また、遠賀川では、緊急災予定箇所の復旧工法の再検討・確認、急激な水位上昇時の樋門・樋管の操作について助言を行いました。



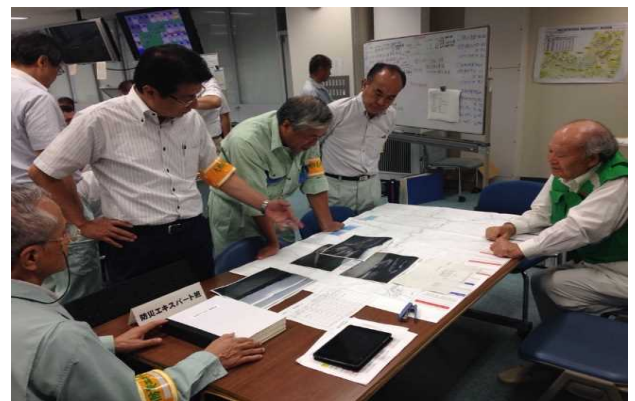
7月5日17時30分の降雨状況(東峰村近辺)



朝倉市赤谷川の被災(流木)状況



筑後川支川花月川右岸6/400付近の被災状況



筑後川の緊急復旧箇所等の工法助言
(説明者：エキスパート会筑後川支部会員)

③平成29年台風18号

9月17日正午前に、台風18号が薩摩半島に上陸後、北上中の短期間降雨により、番匠川・大野川が既往最高水位を突破するなど、各地で浸水被害が発生しました。

このため、大分及び佐伯河川国道事務所から出動要請を受け、会員4名が2事務所に出動し被災情報の収集支援を行い、職員へ対応策の助言を行いました。



大野川(大分)の被災箇所の対応策助言
(説明者：大分支所長)



番匠川(佐伯)の被災箇所の対応策助言
(説明者：エキスパート会大分支部長)

④平成29年国道220号斜面崩壊

宮崎県日南海岸の国道220号で、6月20日の梅雨で日南市宮浦の斜面が崩壊し、また、10月22日の台風22号接近による大雨で日南市志戸の斜面が崩壊しました。会員6名が出動し、復旧工法の助言や工事監督の支援を行いました。



宮崎220号日南市宮浦の斜面崩壊状況



斜面災害復旧工事の監督支援

2、平常時

①総合水防演習

平成29年度の総合水防演習は5月14日に長崎県諫早市の本明川で開催されました。長崎支部を中心に近隣支部の会員も加わり、水防団や学生の指導にあたるとともに、エキスパート会長崎支部長が水防工法の目的・効果などを説明しました。



水防工法などの説明



水防団に月輪工法を指導



水防団に土嚢積みを指導



学生に土嚢づくりを指導

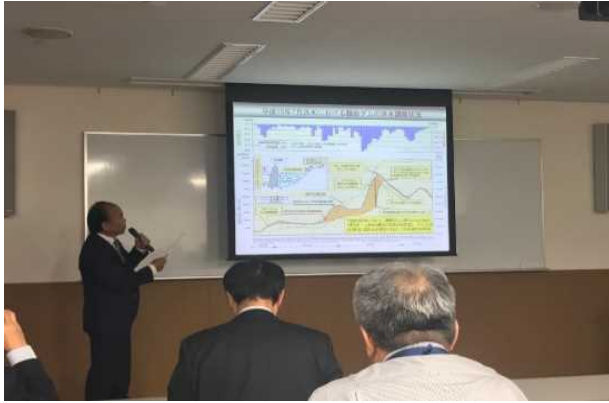
②ダム管理サポート班の活動

「ダム管理サポート班」はダム管理経験者を主に組織されています。平常時はダム管理所長等からの要請により緊急時のダム対応講習等を行い、非常時には現場での洪水対応の実務サポートを行います。平成29年度は平常時の活動を、①筑後川ダム統合管理事務所(松原ダム管理支所) ②武雄河川事務所佐賀庁舎(嘉瀬川ダム・厳木ダム)、③鶴田ダム管理所で行いました。

・実施内容

ダム管理担当者を対象に、平成18年7月洪水時に鶴田ダムで「洪水時操作」を実施した際の危機管理・地元調整等について、当時の管理所長が講演しました。

また、ダム管理サポート班員も参加し、職員との意見交換を行いました。



武雄河川事務所での講演



鶴田ダム管理所での講演

③河川技術サポート会の活動

「河川技術サポート会」は、会員が経験した技術力や判断力の継承により整備局の事業推進に寄与するため、会の「河川分会」として発足させ、平成29年度は4事務所で様々な活動を行いました。

1) 熊本河川国道事務所

①仕事の取り組み方、②これからの河川技術者に求められるものについて、意見交換と現地調査を行いました。



熊本河川国道事務所での意見交換



現地調査状況

2) 山国川河川事務所

①平成24年九州北部豪雨災害で実施した床対事業の進捗と諸課題、②今後の山国川河川事務所のあり方について、意見交換と現地調査を行いました。



山国川河川事務所での意見交換



現地調査状況

3) 長崎河川国道事務所

- ① 諫早湾干拓事業の完成による本明川延伸区間(約7Km)の管理について、意見交換と現地調査を行いました。



長崎河川国道事務所での意見交換



現地調査状況

4) 大分川ダム工事事務所

- ① 管理移行に向けた手続き、② 大分川ダム試験湛水に向けての課題について、意見交換を行いました。



大分川ダム工事事務所での意見交換